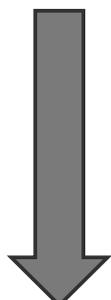


北海道ブロック行動計画の更新事項

○ 行動計画の策定・改定経過

平成29年3月

大規模災害時における北海道ブロック災害廃棄物対策行動計画（第1版）



主な改定事項

- ・対象とする災害シナリオの設定（地震、水害）
- ・災害廃棄物処理の流れ（タイムライン例）
- ・エリア分科会

その他最新のマニュアル、ブロック協議会での検討事項、市町村の処理計画支援で得られた意見等を反映

令和4年度

大規模災害時における北海道ブロック災害廃棄物対策行動計画（第2版）（案）



主な改定事項

- ・新しい推計式による災害廃棄物発生量の見直し
- ・廃棄物処理施設の処理可能量の一部見直し
- ・し尿推計量と処理能力の比較の新規追加

令和5年度

大規模災害時における北海道ブロック災害廃棄物対策行動計画（第2版）

1

令和6年度の更新事項（案）

大規模災害時における北海道ブロック災害廃棄物対策行動計画（第2版）について、本年度検討結果に基づき、下記①、②の更新を行うこととしたい。

◆ 本年度検討に基づく更新：

- ① 災害廃棄物発生量（日本海溝沿いの巨大地震、千島海溝沿いの巨大地震）及び仮置場の必要面積について、本年度の検討結果を反映する。
- ② 産業廃棄物処理施設における処理可能量について、本年度の検討結果を反映する。災害廃棄物発生量と処理可能量を比較し、対象災害における道内での対応可否を更新する。

◆ 近年の大規模災害での廃棄物処理状況の知見に基づく更新：

令和6年能登半島地震における災害廃棄物処理についての記録がまとめ次第、それらの知見に基づく更新を検討する。（令和7年度またはそれ以降）

2